

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立東浅香山小学校
校長 柳井 昌子

令和元年度 重点目標	学校教育目標 「一人ひとりがかがやく学校づくり」 校訓 よく考え 協力して やりぬく子を育成していくために、重点目標として、1. 学びの場としての学校づくりの推進 (1)確かな学力の育成、(2)豊かな心と健やかな体の育成 2. 学校力の向上とひろがる教育の推進 3. 安心・安全な学びの場づくりの推進について取り組む。
-------------------	---

「確かな学び」の現状 <ul style="list-style-type: none"> めあてをもって授業にきちんと取り組む子どもが増えており、平成30年度堺市「子どもがのびる」学びの診断結果からも成果が表れた。 学習規律の定着が見られ、静謐な学習環境が確立されているとともに、学習する楽しさを感じている子どもが増えている。 学校教育アンケート結果から、宿題や自主学習ノートにしっかり取り組み、家庭学習の習慣がついてきているという子どもが増えている。 わかりやすい授業をめざした授業のユニバーサルデザインの実施を学校全体で推進することによって、学習の定着や理解についての成果があらわれている。 	「豊かな心・健やかな体」の現状 <ul style="list-style-type: none"> 「東浅香山10の約束」の徹底を図るために、校内の掲示物の工夫やアンケートの実施などの規範意識が高まるような様々な取組で、学校全体が落ち着いている。 道徳の時間だけでなく、作文の掲示や連運、連音、学習発表会などの応援や感謝の手紙を送ったり、美化レンジャーやあいさつの実運動などに取り組んだりすることで、豊かな心、思いやりや感謝の気持ちを育成している。 縦割り活動、委員会活動の取組が高学年の子どもたちの思いやりや責任感の醸成につながっている。 運動に関する行事が充実してきており、それらの行事を楽しみに取り組んでいる子どもが多い。 給食だよりのクイズや残食調査、わくわくフェアなどの取組により、子どもたちの食に関する意識が高まるとともに、家庭と連携を図った健康教育の取組が進んだ。
--	---

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況 (年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	教科学力の向上	基礎基本の確実な定着を図るとともに、課題をつかみ考え抜く授業を展開する。	めあてをもって学習する姿勢を徹底するとともに、繰り返し学習することによって、基礎基本の確実な定着を図る。 考えを説明・交流する力、学んだことを活用する力を育成できる指導を工夫する。	めあてをもち、問題解決ができる授業が増える。 定着度テスト等で基礎基本の定着が見られる。 考えを相手に伝える場面、学び合う場面が授業で多く見受けられる。 活用力の高まりが見受けられる。	定着度テスト 学びの診断 学びの診断 学校教育アンケート	毎月 10月 10月 12月			
	学びの確かな向上	学習規律のさらなる定着を図るとともに家庭学習習慣を確立する。	●「学習スタンダード」による学習規律のさらなる徹底を図り、すべての子どもにわかりやすい授業を創造する。 家庭と連携を図り、「自主学習ノート」や力のつく家庭学習、読書習慣のより一層の取組を定着する。	子どもの授業に対する集中度が増し、学ぶ意欲が向上する。 自主学習ノートの取組の定着とともに、家庭学習、読書習慣が身に付く。	実施状況 学校教育アンケート 実施状況 学校教育アンケート	随時 12月 12月			
	安心した指導	学習支援対策を計画的・継続的に実施し、個に応じたきめ細かな指導を充実する。	●授業のユニバーサルデザインをさらに推進するとともに、一人ひとりの子どもに合わせた指導・支援を充実する。	学習支援対策により、学習の理解や定着が深まり、学力が向上する。	実施状況 学びの診断 公開授業	随時 12月 9月			
豊かな心・健やかな体	豊かな心の育成	豊かな心、思いやりのある心を育成し、いじめがおこらない集団づくりに取り組む。	●「東浅香山小学校10の約束」の徹底に向けた子どもの意識が高まる取組により、さらに規範意識の醸成を図る。 あいさつの徹底、感謝の気持ちをもつことができる指導などを通して、思いやりのある心を育て、いじめがおこらない指導を徹底する。	校内の様々な目標やルールを守ろうとする意識が高揚し、さらに静謐な学習環境になる。 子ども一人ひとりの自尊感情が高揚するとともに、いじめがおこらない集団となる。	実施状況 学校教育アンケート 実施状況 いじめアンケート	随時 12月 随時 毎学期			
		学校が楽しいと思う子どもが増えるような体制づくりに取り組む。	不登校ぎみの子どもの対応について、家庭との連携を図るとともに学校体制で取り組み、スクールカウンセラーや関係機関とも連携し、改善に導く。	不登校ぎみの子どもが少しでも減り、生き生きと学校生活を過ごす子どもが増える。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月			
		縦割り活動等によるリーダーの養成と仲間意識を醸成する。	交流タイム等を通して、集団の一員としての意識を高めるとともに、それぞれの役割を意識し、自尊感情を高める取組を推進する。	縦割り活動を通して、高学年はリーダーとしての意識が高まり、校内全体で友達のよさを認めることができる。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月			
健やかな体の育成	運動に親しむ環境を整え、体力を向上させるとともに、体力の礎となる健康教育・食育を充実させる。	ランニング等の継続した取組により、運動の楽しさを実感させるとともに体力向上の推進を図る。	運動することが楽しいと思う子どもの数が増え、体力が向上する。	実施状況 体力テスト 学校教育アンケート	随時 6月 12月				
		基本的な生活習慣を確立するとともに、家庭の意識が向上する健康教育・食育をより推進する。	朝食をとる、質のよい睡眠をとる子どもが増えるなど、基本的な生活習慣が確立し、毎日元気に登校できる。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月				
地域協働	信頼される学校体制	学校力のさらなる向上をめざすとともに、学校・家庭・地域の協働によるひろがる教育を推進する。	「学校ホームページ」「校報」「生徒指導新聞」等で積極的に学校の方針や日々の教育活動を発信し、学校・家庭が協働する取組を進める	学校の教育方針・教育活動に対する理解が深まる保護者が増える。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月			
		登下校等の見守り活動をはじめとし、校区での安全、健全育成等に地域と協働して取り組む。	子どもたちが安全に登下校し、学校生活が楽しい。	実施状況 学校教育アンケート	随時 12月				
校長より (年度末)								学校関係者評価者から (年度末)	